

## 21 神様・仏様・金〇〇様 … (幕末足守藩の農村事情)

足守藩久米村の文政13年(1830)の「村中明細記録帳」(田辺家文書)の中に「畑綿作御座候付四分方余銀納…」の記載があり、綿作に対する税金40%が銀納とされていたことがわかります。江戸時代も19世紀に入ると農村部へも貨幣経済の波が押し寄せ、年貢納入の形態も現物納付から金銀納付へ移行して行く様子が見て取れます。(総社市史)

つまり、それまで「お米(物)」で回っていた経済が「お金」が無ければどうにもならない時代になってきたのです。「お金」を手にするということは、商品として販売できる物を生産する必要があるのですが、足守藩内の農業形態は米麦中心の農業で、商業的農業の展開は全く見られなかったと考えられる。(岡山大学:「陣屋町の研究」)という次第ですから、藩内のお百姓がお金を手にするのはなかなか難儀な状態であったと考えざるを得ません。



大井谷光の弓矢神社跡地の金比羅常夜灯

大井、粟井地区にある、いわゆる金毘羅常夜灯は概ね小部落単位にあって、大井上之町から粟井宮畝の海拔280mのてっぺんまで合計13基を数えます。このうち、建立期日が分かるもので一番古いのは大井谷光の文政元年(1818)12月建立のもの。一番新しいものは明治20年(1887)3月に建立された粟井上ノ原のもの。

ところで、これらの金毘羅常夜灯は、香川県仲多度郡琴平町の象頭山中腹に鎮座する金刀比羅宮を祀るものであることは確かです。

金比羅参りが盛んになったのは、商品流通が盛んとなり交通が発達した江戸時代中頃からで、後期には伊勢参りに次ぐと言われるほどの賑わいを見せました。参詣者には、いわゆる物見遊山を楽しむ者もありましたが、そうでない人達も金比羅講をつくってお金を積み立て交替でお参りしたのです。



端正な姿をした粟井上ノ原の常夜灯

備中筋からのお参りルートは備中吉備津、早島、茶屋町経由で児島瑜伽山で一泊、翌朝、田の口港・下津井港から船で丸亀に上陸しました。

また、出雲や備中北部からの参詣者は高瀬舟で高梁川を下り、下津井港で潮待ちをし、引き潮に乗って沖に出て追風に帆を張りシュラシュシュと丸亀に着いたと言います。乗り換えなし、高瀬舟で直行です。

金刀比羅宮は、もともと海の神・航海安全の神で、室町時代に倭寇として活躍した塩飽海賊に信仰され、その後、北前船が内海を通り大阪

に往来するようになって全国的な信仰を集めるようになりました。(長光徳和：岡山文庫「岡山の宗教」)

では、何故航海安全とはほど遠い備中国の山のとっぺんにまで金比羅常夜灯が建つようになったのでしょうか。

理由は、前述の足守藩久米村のとおり、農村部への貨幣経済の浸透にあります。お金が無ければ暮らしてゆけない時代がやってきたのです。

つまり、お金を得ようとする思いが神名にある「金」の一文字と結び付き、いつの間にか金の神・商売の神として海上安全に従事する人々だけでなく広く一般庶民の信仰を受けるようになったと考えられています。(神野力：山陽新聞社「吉備の神と仏」)

農民達が金毘羅の「金」の字にすぎる思いは、いつぞやの虎列刺退治に木野山神社境内末社の



宮ごとそっくり勧請された宮原の金毘羅宮

「高オカミ社」「闇オカミ社」のオオカミにお出ましを願う思いと通じます。しかし、残念ながら、これらは本来の御神徳とは筋の違うものなのです。当然ながら両社とも「金運」とか、「虎列刺退散」の御利益については全く触れていません。信ずる方のご勝手というスタンスですが、お賽銭はしっかり頂いておられる様子です。信ずる者は救われるとはこのことながら神様も薄情なものです。

さて、かくして金比羅常夜灯は「金のなる木」よろしく大井郷の谷筋、また山の尾根に大きな期待を持って植えられたことが分かりました。

ところで粟井柏尾地内に、この常夜灯を凌ぐ優れものが祀られていることをご存じですか。それは柏尾の薬師堂から北東の山裾（粟井2134番地当たり）に五社様と呼ばれる瓦製の祠と並んで祀られています。自然石を半分に割った平らな面の中央部に「金〇崎」。右に嘉永6年（1853）3月吉日、左に田中平左エ門と刻んであります。問題は中央の「〇」の文字です。

「貝」偏の右に「来」をくっ付けてあります。貝の字は財宝の財、財産の財でも分かるとおおり、お宝と縁のある文字です。漢和辞典で調べますと、果たしてこの組み合わせは「らい」と読み、たまわる、くださるの賚らいと同意とあります。つまり、金賚崎とはお金をお恵みくださる有り難い神様ということになります。今もこれをお祀りされている田中さんは、「金比羅様と同じように」考えているとのことですが、当時の農村事情をストレートに伝える第一級の民俗資料ではないでしょうか。



田中株が祀る粟井柏尾の五社様と金賚



嘉永六年三月 金賚崎